

平成16年11月20日

原子力委員会新長計策定会議議長 近藤駿介 様  
新長計策定会議 各委員 様

## 要 望 書

「第17回長計についてご意見を聴く会(青森県)」でパネラーとして発言致しました所清悦と申します。その後、我々発言者6名及び会場からの発言者の意見が策定会議においてどのように議論され、どのように新長期計画に反映されていくのか、その中身については全く伝わって来ないのが実状です。

11月12日の策定会議で「要望書・要請書は取り上げる」との意見があったと伺いました。原子力政策、特に核燃料サイクル政策に意見を述べたい多くの青森県民の中から選んで頂いて発言した者として、責任を感じております。そして、新長期計画がより良いものとなるように、青森県民のみならず、多くの国民の意見がしっかりと議論され反映される事を願っています。そこで再度、下記内容の要望を致しますので、ぜひそれらに応じて下さいますよう宜しくお願い致します。

1. 「聴く会」も含めて青森県民や国民から出された意見がどのように議論され、新長期計画のどの部分に反映されているかがわかるような資料を要求した人に提供すること。
2. 青森県民にとって最も関心の高い「核燃料サイクル」に関する策定会議を、多くの青森県民が傍聴できるような形で開催すること。
3. これまでの原子力長期計画策定で行われていた国民の意見募集が、長計の随所にしっかりと反映されるように、各策定会議の議題に関わりのある意見をその都度議論の前に報告した上で、それらも併せて議論していくこと。
4. 「原子力委員会が三村知事一人に騙された」と笑われないようにするためにも、三村知事に対しては今からでも、「多くの青森県民が、再処理を今行う必要性について十分理解し、再処理を早期に行う事を望んでいる」という事を示す根拠を提出させること。

以上

所 清悦(第17回長計についてご意見を聴く会パネラー)